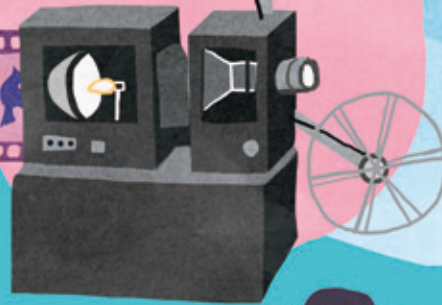




本物のフィルムに  
触れられるよ!

映写機と一緒に  
写真撮影!



お話つきで、  
映画がもっと  
楽しくなる。



2018年の夏休み

# こども映画館

KIDS ★ CINEMA



映画の上映とお話 + 映写室・展示室 訪問

【当選者のみ】 【希望者のみ】

夏休みの  
思い出になるね!

大きなスクリーン  
で観る迫力!



7月27日金 | 28日土 | 8月3日金 | 4日土 13時30分スタート!  
(13時開場)

## 国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)

料金(当日お支払い) 小ホール(地下1階)	
中学生以下	無料
一般	520円
高校・大学生・シニア	310円

★「こども映画館」は、中学生以下を対象としたイベントです。こどもの引率や付添ではない成人の方々の単独でのお申し込みはお断りしています。★当日の会場への入場は整理番号順です。開館(11時)と同時に、入場整理券を1階ロビーにて発券いたします。開場・発券は開映の30分前から整理番号順に行います。プリントアウトをした受付メール(もしくは携帯画面)をご提示の上、観覧券をお求めください。観覧券は当日・当該回のみ有効です。★シニア(65歳以上)の方は、当日必ず年齢を証明できるものをご提示ください。★お申し込みの際にいただきます個人情報は、「こども映画館」に関するご案内の目的のみに利用することとし、第三者への提供は行いません。

参加は事前申込制です[メールのみ]

★受付開始:7月5日(木)10時より(受付開始前のメールは受付いたしません。受付開始日以降にメールでお申込みください。)

★応募方法:Eメールにて「国立映画アーカイブ こども映画館係」までお申し込みください。受付票をメールにて返信いたします。しめきりは実施日の1週間前です。各回、定員(150名)に達し次第締めきります。

★記入事項:希望日/参加者全員の名前(おとなもこどもも)と学年(こどものみ)/Eメールアドレス/展示室訪問の希望の有無/映写室訪問の希望の有無(映写室は抽選の当選者のみ参加可)

★Eメール:国立映画アーカイブ こども映画館係

✉ kids2018@nfaj.go.jp

内容に関してのお問い合わせ: ☎03-3561-0823

国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan  
東京国立近代美術館フィルムセンターは、2018年4月1日より  
国立映画アーカイブとなりました。

# 2018年の夏休み こども映画館

KIDS★CINEMA

みんなで一緒に、大きな  
スクリーンで映画を観よう!!

7月27日 金  
13:30-15:30



『宇宙大戦争』

## 空想の世界

特撮映画で空想の世界を体験!  
60年ほど前に想像された宇宙へ  
旅してみよう。

### 『宇宙大戦争』(1959年)

日本/監督:本多猪四郎/90分  
この映画が作られた1959年は、アメリカと旧ソ連の人工衛星やロケットによる宇宙開発ブームの中、初めて月の裏側の撮影に成功した年。映画では、その月の裏側にひそむナタール星人との戦いが特撮で描かれる。当時の東京の街並みの破壊シーンも迫力満点。

7月28日 土  
13:30-15:30



『ちどり』

## 生きもの こどもたち

映画で夏休みの自由研究。珍しい鳥の生活を、70年前のこどもたちと一緒に観察してみよう。

### 『ちどり』(1946年)

日本/監督:下村兼史/32分

### 『こんこん鳥物語』(1949年)

日本/監督:下村兼史/29分

鳥や生きものを記録した写真や映画で有名な下村兼史監督の作品から、こどもが野鳥を見守る観察日記の形をとった作品を紹介。町に近い川岸で一生懸命に生きる親鳥たちの愛らしい姿が、スクリーンいっぱいに映し出されます。映画でしか見られない鳥たちの生活をじっくり見よう。

8月3日 金  
13:30-15:30



『ピーター・パン』

## 弁士と生演奏で 楽しむファンタジー

お父さんお母さんも、みんなが知っている素敵なお話“ピーター・パン”。94年前につくられた白黒無声映画が、活弁と音楽で、あざやかによみがえるよ!

### 『ピーター・パン』(1924年)

アメリカ/監督:ハーバート・ブレン/101分

ある夜、ピーター・パンが、ウェンディとふたりの弟の部屋にあらわれる。妖精の粉のおかげで空を飛べるようになったウェンディたちは、ピーター・パンにつられてネバーランドに向かっていく。そこには人魚やワニや海賊がいて…。ピーター・パンとこどもたちの大冒険がはじまる!

※不完全なプリントが含まれていることがあります。  
※映画の上映の順序は変更になることがあります。  
※各プログラムの終了時間は目安です。  
※8月3日の作品は英語字幕ですが、弁士の説明でお楽しみいただけます。

8月4日 土  
13:30-15:30



『おとぎ噺 おんぶおぼけ』

## 弁士と生演奏で 楽しむアニメーション

日本ではじめてアニメーションがつけられたのは、約100年前。現在残っている日本最古のアニメーション作品や、かわいい動物やおぼけがでてくる作品など、活弁と演奏付きでアニメーションを楽しみながら“フィルム”について考えてみよう。

### 『漫画 かへるの横綱』

[玩具フィルム](製作年不明)日本/監督不明/1分 ●活弁と演奏はつきません

### 『なまくら刀』[新最長版](1917年)

日本/監督:幸内純一/5分

### 『カンガルーの誕生日』

[無声版](1940年)  
日本/監督:熊川正雄/9分

### 『三匹の小熊さん』

(1931年)日本/監督:岩崎昶/12分

### 『おとぎ噺新 おんぶおぼけ』

(1955年)日本/監督:横山隆一/23分



8月3日、4日は活弁・演奏  
付きで映画が観られるよ!

### 弁士:佐々木亜希子

活動写真(映画)の弁士。NHK山形放送局にてニュース番組のアシスタント・キャスターを務めた後、2001年より弁士として各地で公演を行い好評を博している。視覚障害者も健常者もともに楽しめる音声ガイドも手掛け、「君の名は。」(新海誠監督)などDVD収録作品多数。

### 演奏:FEBO

2003年に結成。ギターの小沢あき、ピアノの永田雅代による即興中心のアンサンブル。

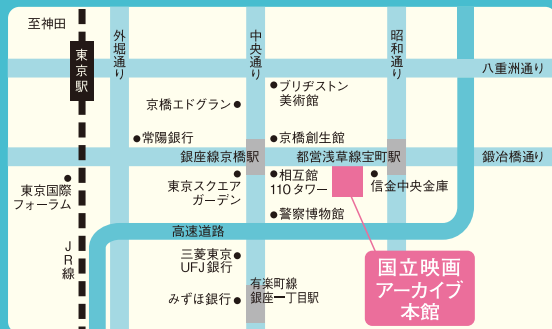
「活弁とは?無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人気の左右されるほど大切な役割を担っていました。」



### 保護者・指導教員・引率者の皆様へ

「こども映画館」は、中学生以下を対象とした国立映画アーカイブの映画イベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

- ★映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。
  - ★テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。
  - ★優れた映画作品の鑑賞を通して、豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。
- 映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する——かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日のこどもたちにも味わってみたいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。



## 国立映画アーカイブ

〒104-0031東京都中央区京橋3-7-6  
交通:●東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口2から昭和通り方向へ徒歩1分  
●都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
●東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
●JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600  
NFAJホームページ:www.nfaj.go.jp



国立映画アーカイブは長瀬映像文化財団の支援を受けています。